

特別な支援を必要とする 子どもたちの理解と支援

徳島県教育委員会

～高校生の保護者等のみなさまへ～

徳島県では、特別支援教育の充実に向けた取組を進めています。

特別支援教育とは、生徒の自立と社会参加をめざし、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力を伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するために適切な指導及び必要な支援を行うものです。

こんなことで困って
いませんか？

学習面

- 黒板の内容をノートに書き取るのに時間がかかる。
- 聞きまちがいや聞きもらし、読みまちがいをよくする。
- 興味のある教科とそうでない教科で大きな差がある。
- 周囲の音や様子が気になり、課題などに集中できない。

対人関係

- 冗談やユーモアを言葉どおりに受け止めてしまう。
- 友だちを求めるが、関係をうまく築くことができない。
- 質問の内容に合わない返答をすることがよくある。



生活面

- 携帯電話でメールやネットに無制限にアクセスしてしまう。
- 一つのことに対する興味を持つと、他のことが考えられない。
- レジや自動販売機などの利用時に順番を待つことが難しい。
- 整理整頓が難しく、学習や生活に必要なものをよくなくす。
- 急に予定が変わると柔軟に対応できないことがよくある。

困っていること
それは子どもからの
サインです。



困っていることの原因は？

「何か原因があるのでは？」という気づきが支援の第一歩です。

- 言葉や行動に現れる様子は同じようでも、原因は一人ひとり違います。

子どもの立場に立ち、その原因について考えてみることが大切です。

- 本人の努力だけでは改善できない場合もあり、失敗経験ばかりを積み重ねると、自尊心が低下し、情緒や行動の二次的な問題（無気力、反抗的な態度など）を起こすことがあります。中には、不登校や中途退学などにつながることもあります。
- 学習や生活上の様々な困難が小さいころから継続してみられる場合は、発達障害による困難さが背景にある可能性もあります。

理解と支援が必要です。

まわりが本人をよく理解し、必要に応じて適切な支援を行うことで、学習や生活上の困難さを軽減し、本人が本来持っているよさを生かして生活することができます。生活の中で成功経験を積むことは、自尊心や意欲を高め、楽しく充実した高校生活につながります。

また、高校生段階では、将来の社会自立と進路実現に向けて、自分のよさを知る、苦手なことへの対応の仕方を学ぶなど本人の自己理解を深めることも大切です。

学校までご相談ください

- 「特別支援教育コーディネーター」※1が中心となって、学校全体で特別支援教育に取り組んでいます。
- 必要に応じて「個別の指導計画」※2を作成し、きめ細かな支援を行います。
- 「特別支援教育巡回相談員」が教育相談に応じることもできます。



※1 保護者の相談窓口、関係機関との連絡調整、校内の特別支援教育の推進役としての役割を担う教員。
※2 一人ひとりの学習や生活に応じた目標、内容、指導方法などを盛り込んだ計画。



徳島県教育委員会 特別支援教育課
TEL 088-621-3142
徳島県総合教育センター 特別支援・相談課
TEL 088-672-5200



このリーフレットは、文部科学省「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」により作成しました。